

第1回 中川原公園の未来を語る会①

—中川原公園の災害復旧に関する説明会—

意見要旨

■日時：

令和5年10月14日(土)14:00～15:00

■会場：

人吉市役所 2F 201 会議室

■次第：

1. 開会
2. 中川原公園の災害復旧に関する説明
3. 質疑応答
4. 10月28日のワークショップ案内
5. 閉会

■出席者：

市民：6名
役所：4名
新聞：2名
事務局：8名
コンサル：4名
山王：1名
双栄建設：1名

質疑応答

■住民1（瓦屋町）：

- ・中川原公園には子供のころから親しんできた。そのため、中川原公園を球磨川に親しむ接点にしてほしい。
- ・最低でも外側の見える部分（堤防や擁壁）の形状は従来のものではなく、他にない自然に馴染むものにしてほしい。
- ・中川原公園は江戸時代から存在し、歴史的な風情の一つであるため、人吉の観光スポットとなる。そのような場所にふさわしい形状にしてほしい。

■事務局：

- ・公園内に樹木等の自然物を設置することを検討している。
- ・周辺の護岸については、かわまちづくりを進める中で、国や市、その他関係機関と協議を行い、水と親しむ場にしようと検討している。
- ・本日いただいた意見もかわまちづくりの関係者に共有しながら、中川原公園を自然が感じられる場所にすることを目指し検討を進めていく。

■住民2（九日町）：

- ・以前、中川原公園にサクラを植えてほしいと九日町商店振興組合と町内会と共に市に申し入れをしたが、サクラは根が張らないため難しいとのことだった。サクラが難しいのであれば、観光客向けにコスモス等の花を植えてはどうか。

■事務局：

- ・サクラは以前、下流側に数本植樹されていたと記憶している。当時から根の張りが悪かったかどうかは不明だが、検討を進めていく。

■住民2（九日町）：

- ・以前は下流側でバーベキューを行っていたため、バーベキューやオートキャンプ場を検討してはどうか。また、公園の利用料金を徴収するための料金所を設置してはどうか。

■事務局：

- ・以前は、球磨川の上流側でグラウンドゴルフが盛んに行われ、下流ではキャンプやバーベキューが行われており、子供たちが遊ぶエリアにもなっていた。

■住民2（九日町）：

- ・中川原公園に駐車場は必要ないのではないか。設置した場合でも、長時間利用ではなく簡易的な利用のみとしてほしい。

■事務局：

- ・駐車場についてはこれまでも、駐車場は必要という意見がある一方、15台では少ないため増やしてほしいという意見があるなど、様々な意見が寄せられている。そこで、どのような形が適当なのかを今後のワークショップ等で、皆様と一緒に検討を進めていきたいと思っている。

■住民3（寺町）：

- ・昭和2年（1927年）に、日本の国立公園法を作った田村剛（タムラツヨシ）氏という林学者が、人吉公園計画を作成しており、市役所に原本が残っていると思う。当該計画では、人吉は非常に美しいまちとされており、特に地元住民から見た景観を大事にしながら公園検討を進めてもらいたい。そのためにも、擁壁や護岸のデザインは非常に大事であり、自然景観にあったものを作る必要があるのではないか。

■事務局：

- ・昔の資料を参考にしながら、中川原公園や城跡公園の歴史や遊歩道の検討を進めていきたい。
- ・斜路については、今後の形状変更は難しい。しかし護岸などについては、自然景観を取り入れつつ検討を進めていく。
- ・護岸については、八代河川国道事務所が今後、整備を進めていくと聞いている。整備が完了するまでは、袋詰め玉石が残る予定となっている。中川原公園に対して、袋詰め玉石が無ければ、川の音が楽しめる、周囲が見やすい、逆に袋詰め玉石を設置した方が、川の流れが緩やかになり、草が生えることで景観的に良いなどの様々な意見が出ている。これらの意見を踏まえ、自然と調和した景観を大事にしながら、公園を作り上げていきたい。

以上